

図書館からのお知らせ

～ 今月のおすすめ本～

「テオのありがとうノート」

【内容紹介】

障がい者施設で車いす生活をしている主人公のテオは、何かを頼むたびにお礼を言うのになんざりし「ありがとう」と「すみません」を言うのをやめることにした。

「ありがとう」を言いたくないテオはひとりできることを増やしていく。

順調に「ありがとう」を言う数を減らしていったテオだが、どうしても「ありがとう」を言わなければいけない場面が出てくることに気づきます。

そこで、手伝いをしたりして「ありがとう」をもらい、「ありがとう」貯金をして、ノートに書き留めていくことに…。

できないことができるようになっていく楽しさや、諦めきれない気持ちさが描かれています。誰しもに共通するかつとうや感動がある物語です。



和紙の里コーナー



ただ今和紙の里では、「道の駅記念きつぷ」を販売中！

シリアルナンバー入り、300枚ごとに絵柄が変わり、いろいろなわしのちゃんに出逢えます。

ここだけの描き下しわしのちゃんなので300枚ごとに

ワクワクしてく

ださい！

特別公開！⇒

～1800枚

までのわしの

ちゃんです♥



詳しくは

東秩父村和紙の里 ☎ 82-1468

みどりの杜俳句会

文

芸

大寒の木木の梢に風のなし

高橋 きみ

計報あり山の寒気に立ち向かふ

佐山けさ子

霜の朝畑の圃りを片づける

富田 とり

庭に置く梅の盆栽香りけり

松本 孚子

垣沿ひに巡れば梅の香りくる

落合 七郎

新春や秩父囃子の幕ひらく

河西カナメ

母屋より百歩霜踏み我が離れ

馬場 芳

初晴れや山より山へ雲の筋

梅沢きくえ

初観音人のにぎはふ行き帰り

杉田 静枝

窓越しの初日を受けて自主トレオ

鈴木 啓子

見上ぐるや白くちぢれて削り花

高橋 ツ子

日当りの土手に水仙横並び

田村 好子

庭隅に臘梅ひらき良き香り

飯野 トヨ

初みくじ吉と出財布にしまひけり

飯野はつ志

福寿草庭木の下に開きけり

星 つる

迎へ待つ頬に山より寒の風

関口 真吾

削り花十五の節の乾きけり

小宮 勉

子と共に引く大風や十五畳

高野 利雄

ぼろ市を巡り街道賑はへり

野口利江子

霜枯れとなり白菜の畑かな

千野さき子

水道管布を巻きつけ寒波来る

岡部富美子

宮の梅赤き小粒の蕾あり

土屋 厚子

削り花蘭玉を添へ飾りあり

初雁 功子

一かきに樹液滲むや削り花

山田 美子

白石短歌会

「たゞいま」と元気にはずむ声思い
早く退院曾孫に逢いたし

渡邊 京子

杉葉蔭七色の光放ちつつ

短かき冬の夕陽が落ちる

渡邊美枝子

茅根に付きて花咲く南蛮煙管

茗荷に付くとはこれはおどろき

坂本 美江

促成す^{けいおち}挿翁桜賜わりて

大雪に籠る内に春の来たれり

白石 礼子

五ヶの石手のひらに乗せしみじみと
鳥取砂丘の思い出つむぐ

渡邊阿里子

